



# 農大だより

URL <http://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

第 16 号 香川県立農業大学校

〒 766-0004

仲多度郡琴平町榎井 34-3

TEL 0877-75-1141 FAX 0877-75-3989

E-mail : nodai@mx8.tiki.ne.jp

- 校長あいさつ
- 先進地視察研修報告
- 中四プロジェクト発表会
- 卒論発表会
- 同窓会だより
- 活躍する卒業生
- 技術研修科だより
- 輝く修了生
- 学生募集
- 教職員名簿



## 消費者起点で 見てみよう！

校長 高橋 清

今年も新しい学生・研修生を迎え、農場では植付けや栽培管理、収穫作業など、農家として必要な作業が始まりました。

農業は、自然を相手に農産物を生産する産業です。皆さんが愛情をこめ、手間暇かければ、高品質や多収という形となって、きつと返ってきます。収穫の喜び、仕事の充実感をぜひ実感していただきたいと思っています。

また、農業も消費者の起点に立った物づくりがより一層求められてきています。スーパーなどの青果物売場を意識して観察しましょう。どんな商品を購入しているのか、そして自分たちが生産したものと比べてどうなのか、何かを発見できればしめたものです。次の栽培に活かれます。この繰り返し商品づくりや農業経営の改善につながります。

学生生活の面では、クラブ活動にも積極的に参加し、同

じ学ぶ者同志、交流を深めていただきたいと思います。社会に出て、よき相談相手になってくれるものと思います。

## 先進地視察研修報告

### 野菜園コース



福岡県農林業総合試験場の農業資料館

野菜園芸コースは、福岡県庁、福岡県農林業総合試験場及び柳橋市場において、視察研修を行いました。

福岡県庁では、野菜生産の状況とブランド化の取り組みについての話を聞きました。野菜の主要品目の作付面積や産出額の近年の推移について



説明を受けた他、「あまおう」で有名な福岡県のイチゴについて、それまでの主要品種「とよのか」から産地と関係機関が一丸となって品種の切り替えを進め、「あまおう」ブランドの確立につながった話を聞きました。

福岡県農林業総合試験場では、福岡県の農業について展示した農業資料館の見学と、新作物や天敵活用等イチゴを中心とした試験研究成果の話を聞きました。

柳橋市場では、鮮魚や野菜等の店舗が集まっている様子を視察しました。地元で流通している野菜等を見た後、「あまおう」を購入して皆で試食してみました。

水田土壌を活用した野菜生産が中心であり、イチゴ、レタスが主要品目であるなど、香川県と似た点もある福岡県ですが、レタスはリーフレタスが盛ん、イチゴは土耕栽培がほとんど、と香川県との違いもあり、日頃聞く話と違う視点に刺激を受けることもできた有意義な研修だったと思います。

花き園芸コース



東京都中央卸売市場大田市場にて

花き園芸コースの三名は、東京都の神代植物園及び小石川植物園のほか、都内の花市場等で先進地研修を行いました。

神代植物園は、約四九ヘクタールという広大な面積に、八〇〇種、十万株の樹木が種類ごとにブロック植栽されており、学生達はその樹木の大きさと種類の多さに驚いていました。

小石川植物園は、総面積約十六ヘクタールで、台地、傾斜地、低地、泉水地などの地形を利用して様々な植物が配

植されており、学生達は園内を巡りながら、世界各地から収集保存した貴重な植物を珍しそうに観ていました。

また、都内での市場調査では、高級花店や大手のフラワーショップを何店か巡る中で、学生達は地方と首都圏の販売価格の違いを実感していました。

東京都中央卸売市場大田市場は、年間取扱金額二六五億円という国内最大の大型市場で、質量ともに豊富で安定供給が図られています。特に、競りにかけられるのは全体の二割で、残りは相対取引販売されていることに驚きました。

市場内での見学では、市場の仕組みや切り花類の取扱状況について説明を受けるとともに、その後の研修会では、学生からも質問する形で情報交換することができ、花きの消費・流通に関する見聞を少しでも深めることができました。

果樹園芸コース

果樹園芸コースの六名は、東京都中央卸売市場大田市場

と都内の果実専門店を中心に、果実の流通販売状況を調査しました。

大田市場では各産地から出荷された果実とせりの状況を見学しましたが、学生達はその集荷量の規模と品目の多さに驚いていました。



大田市場で説明を聞く

ここでは、卸売業者や仲卸売業者の方や市場駐在の担当の方から県産果実の評価や問題点などを聞くことができ、東京における本県の果物に対する評価の一端を感じることができました。なかでも、ブドウの「シャインマスカット」やキウイフルーツの「香緑」、「さぬきゴールド」等の品質に



対して高い評価が得られていることからこれらの品目の将来性に期待していました。また、果実専門店や百貨店内のフルーツブースではセンスの良い店内の装飾や一流の果実に驚嘆していました。ここでは、ディスプレイや商品説明の方法、また、徹底した品質管理等について学ぶことができました。

この貴重な研修は今後の専攻実習や卒業論文をまとめる中に活かせると思います。

### 造園緑化コース



足立美術館庭園にて

造園緑化コースは、一日目は、島根県の足立美術館の庭

園で広大な枯山水庭園を見学しました。この庭は、昭和の造園家山根金作氏が作庭したもので、美術館に面した広大な敷地に、白砂や芝生などなどならか山や海を表現し、雄大な自然の風景を表し、さらに美術館の建物の周りにも、飛び石、石橋、延べ段、蹲（つくばい）、滝及び茶庭などの日本庭園の要素を余すところなく取り入れた庭が作庭されていたことに感銘を受けました。

二日目は、京都に移動し、南禅寺、東福寺及び銀閣寺などの日本庭園を見学しました。南禅寺金地院庭園は、江戸初期に小堀遠州が作庭したといわれる代表的な日本庭園で、鶴島、亀島、蓬萊（ほうらい）石組み、深山幽谷を表す背景の大刈込などで構成され、奥行が少ない庭に奥行き感をだしているところに興味がわきました。

三日目は、JR大阪駅周辺の屋上緑化や都市緑化の現状を見学した後、自由研修として海遊館を見学し、思い出深い研修となりました。

### 畜産コース



野村畜産の牛舎にて

今年三月に二泊三日で鹿児島県へ行ってきました。

一日目は、平川動物公園で鹿児島県特産のトカラヤギ、トカラ馬、ルリカケス等を見学しました。二日目の午前中は、鹿児島大学の高木先生と（有）シェパード家畜診療の蓮沼所長の案内で、ナベヅルの飛来で有名な出水市の野村畜産を視察しました。この農場は、和牛繁殖牛約一〇〇頭の一貫経営をしています。ここでは、徹底した消毒など牛の病気予防に力を入れていました。午後からは、鹿児島大学の農学部獣医学科の施設を見学させていただきました。

今回の研修では、鹿児島県は「薩摩黒牛」という銘柄牛があり、畜産の盛んな県であるという印象を強く受けました。学生にとっても貴重な研修になったと思います。

### 中国四国ブロックプロジェクト発表会



平成26年度中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会

平成二七年一月二二、二三日の二日間、岡山県笠岡市において中国四国ブロックプロジェクト発表会が開催されました。本校からは九名、全体で一七名が出席し、一九課



題の発表がありました。

本校の発表は二課題。藤田皓平さんの「藤田家アスパラガス栽培二つの改善点」と榎原由知さんの「黄色蛍光灯の利用によるモロヘイヤの花芽着生・抑制と夜蛾類対策の検討」です。大勢の前で緊張しながらも、野菜園芸コースの両名は普段の練習どおり、しっかりと発表を行いました。交流会では他校の学生との親睦を深め、二日目は笠岡干拓地の農畜産業の状況を見学しました。

### 校内卒論発表会

平成二七年一月一六日に校内卒業論文発表会を行いました。

二年生は、専攻実習の授業を通して課題を設定し、課題解決のために調査研究した結果を取りまとめ発表に臨みました。限られた持ち時間の中で、研究成果や問題点、生産現場での実用性などを整理して伝えようとする苦心の跡がみられました。一年生も発表の進行役とし

コース	氏名	課題名
野菜園芸	青井 遥	カルシウム葉面散布がトマトに及ぼす効果について
	石原 佳奈	6次産業化に取り組む苺観光農園の集客安定対策
	川崎 治希	晩秋どり栽培におけるキャベツの優良品種選定
	榎原 由知	黄色蛍光灯の利用によるモロヘイヤの花芽着生・抑制と夜蛾類対策の検討
	新居 海渡	春ブロッコリーの品種とマルチ、中耕土寄せ作業が生育に及ぼす影響
	秦 拓也	トマト黄化葉巻病耐病性品種の栽培
	藤田 皓平	藤田家アスパラガス栽培2つの改善点
	藤村 優一	地方品種トウガラシ「香川本鷹」の栽培と自家採種
	増田 夕美江	青ネギの夏どり作型における高温対策としてのマルチ資材の検討
花き園芸	石尾 幸大	アレンジメントアスターの栽植方法が切り花品質に及ぼす影響
	大喜太 聖	夏秋ギク「精の一世」における品質保持剤の効果について
	近藤 江里子	トルコギキョウの育苗期における灌水方法の検討
	十川 実佳	輪ギクに対するEOD光照射の効果について
果樹園芸	大西 健司	ウンシュウミカン「小原紅早生」における後期重点摘果が果実品質及び収量等に及ぼす影響
	大野 幸司	モモ「紅清水」における二重袋栽培が果実品質に及ぼす影響
	地濱 卓也	キウイフルーツ「香緑」における液体受粉溶液の違いが果実品質に及ぼす影響
	永瀬 祥樹	極早生ウンシュウ「ゆら早生」の摘果と新梢管理方法の違いが果実品質と樹勢に及ぼす影響
	成行 瞬	ブドウ「ピオーネ」の薬剤の違いによる晩腐病の発生軽減対策の検討
	藤沢 直人	西南暖地における洋ナシ「ラ・フランス」収穫適期の判定
	冬野 直人	ブドウ「シャインマスカット」のジベレリン1回目処理に混用するフルメット濃度の違いが果実に及ぼす影響
	松井 雄治	モモ早生品種における早期摘果及び果実袋が果実品質に及ぼす影響
緑造化園	飛谷 健人	善通寺ガーデンコンテスト出展
	溝渕 敏広	簡易竹垣と猪よけ竹柵の製作
畜産	岩田 彩加	トマト給与が肥育豚に及ぼす影響
	岡内 祐樹	自作エンリッチドケージでの採卵鶏の生産性・快適性調査～AWへの提案～

て活躍し、来年度に向けて発表の場を経験しました。生徒も含めた出席者による採点の結果、優秀者は次の5名となりました。

- 野菜園芸 藤田 皓平
- 野菜園芸 榎原 由知
- 果樹園芸 松井 雄治
- 野菜園芸 石原 佳奈
- 野菜園芸 秦 拓也

### 同窓会だより

農業大学校同窓会副会長

綾歌・坂出地区支部長

武下 穰さん(五十五歳)

私は昭和五四年四月に第三期生で農大に入学しました。当時は自宅で乳牛を飼育していた関係で畜産コースに在籍

し、同級生は百二十名ぐらいでした。



二年間の学生生活の中で一番思い出に残っているのは北海道での一カ月間の酪農実習です。当時の高松から北海道への旅は今と比べれば大変長い行程でしたが、元氣よく実習地の北海道夕張郡長沼町へ着きました。

着いて最初に驚いたのは、とてつもなく広い大地と雄大な牧草地でした。そこに吹くさわやかな風など、自然の大きさに感動しました。その反面、夏場の作業は過酷で、今は皆でよくがんばったと思います。



卒業後はすぐに地元の農協に就職して、地元の支店で経済部門の仕事を中心に一生懸命勤めました。理由あって昨年退職し、老人介護の仕事をしたと思います。日々勉強中です。家庭は、二八歳で結婚して男の子を一人授かりました。

最後に、農大の学生に伝えたいことは、生きていく方法は百通り以上あります。失敗を恐れず挑戦や冒険をし、焦らず進んでいけば、きっと夢は叶うはずですよ。

### 活躍する卒業生

#### 井上 広樹さん（高松市）

井上さんは、四年制の大学を卒業後に社会人を七年間経験された後、結婚を契機に造園業に転職する目的で農大の造園緑化コースに入学されました。

農大では、何事にも積極的に、特に造園の専門学科や実習には熱心に取り組まれ、平成二五年に農大を卒業した後、末澤緑地（株）に就職されました。

会社では剪定・植栽・外構施工などの業務に携わりながら庭づくりのための創造力を学ばれ、また、仕事を続けるうちに樹木のエキスパートになりたいとも考えるようになり、樹木医としての勉強も始められているそうです。



そして、「造園は天候に左右されることもあり、楽しい現場ばかりではないですが、とてもやりがいがある」と話されています。

造園の仕事は、専門技術、要領及び体力などの全てを要求される仕事ですので、入社当初は失敗することもあり、先輩から叱られることもあつ

たそうです。しかし、持ち前の強い意志で乗り切り、ご本人の理想とする造園家となることを目指して日々精進されています。

### 技術研修科だより



講習イメージ

研修科では毎年、農業者を対象に農業機械利用技能者養成研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを行っています。本年三月に大特免許取得者を対象とした研修Ⅲ（農業機械士）を実施しましたので、その様子をお知らせします。

この研修は、農業現場での

農業機械の適正な取扱や簡易な修理ができることを目的としており、学科と実技の講習を行っています。学科では農業機械の構造、構成部品、原理原則、工具類、適正な操作法、農作業安全、簡易なメンテナンス方法の学習を行い、実技では単気筒のディーゼル、ガソリンエンジンの分解組立やネジ立て工作、始業点検、ロータリ耕の講習を行いました。また、メーカーから講師を招き、現車を使ったトラクターとコンバインの適正な取扱方法の講習も行いました。今回は一名の受講者全員が技能検定試験に合格し、農業機械士となりました。今後の活躍が期待されます。

### 輝く修了生

#### 國重 幸代さん（坂出市）

坂出市で平成二六年四月に就農した國重幸代さんを紹介いたします。

國重さんは、平成二五年度の本校研修科就農実践野菜コースの修了生で、一年間、



野菜栽培の研修を受けられま  
した。



農業を仕事にと選択したこ  
とから、農業経営の基礎を身  
につけるために会社を辞め、  
農大での研修を決意されたそ  
うです。

現在、水稲八五アール、レ  
タス五〇アール、ナス・ブロッ  
コリー各五アールなどを栽培  
しています。基本的に一人で  
作業をしているため、JAの出  
荷調整支援の活用や農業機  
械を揃えることにより、労働  
力不足を補い、計画的で効率  
的な農業を心掛けています。

また、認定就農者にも認定  
され、品質の向上を図るため、  
生産部会の加入や流通業者等

とも積極的に関わりを持ち、  
視野を広げていきたいと意欲  
的です。

さらに、地元の川津小学校  
の生徒を受け入れ、農業体験  
支援にも取り組まれています。

最後に、所得向上はもとよ  
り、地域に貢献できる農業の  
実践を目指し、意欲的に農業  
に挑戦されている国重さんの  
今後益々の御活躍を期待して  
います。

### 学生募集

### オープンキャンパス

開催日は、七月二十六日(日)、  
八月七日(金)、八月十九日(水)  
の3回で、時間はいずれも九  
時三〇分〜一二時です。

学生を対象とした「農場実  
習体験コース」は、①野菜、  
②果樹、③花き、④造園、⑤  
畜産の5コースからの選択と  
なります。また、学生、保護  
者、高校教諭を対象とした「学  
校施設案内コース」もありま  
すので、事前に本校の教務課  
に電話で開催日の二日前まで  
に申し込んでください。

なお、「農場実習体験コース」  
は作業服や体操服で参加して  
いただき、長靴、タオル、帽  
子を持参してください。

### 入学試験

推薦入学試験の願書受付期  
間は九月二十五日〜十月八日で、  
試験日は十月一五日です。

前期の一般入学試験の願書  
受付期間は一月四日〜一二  
月一七日で、試験日は翌二八  
年一月六日です。

後期の一般入学試験の願書  
受付期間は二八年二月一二日  
〜二月一八日で、試験日は二  
月二五日です。

詳細は本校教務課まで。

### 農業大学校教職員名簿

校長	高橋 清
副校長	久松吾都子
総務研修課長	蓮井誠太郎
(庶務・経理担当)	
主任	宮武ふみ代
主任	松林 好則
主任	松岡 朋子
庁務員	高橋 利治

### (研修担当)

教授	合田 典子
教授	瀧川 裕史
教授	清水 康司
教授	香川 秀範
教務課長(兼)	久松吾都子
(学務・農場担当)	
教授	松本 英治
准教授	三野 真弓
主席技師	野村 和親
農場管理員	末澤 賢二
	高畑 宏
	和泉 弘美

### (野菜園芸コース)

教授	藤村 耕一
教授	牛田 均
教育助手	秦 拓也

### (花き園芸コース)

准教授	大原 一能
教授	上原 廣大
教育助手	十川 実佳

### (果樹園芸コース)

教授	十鳥 幹雄
教授	各務 好行
教育助手	大野 幸司

### (造園緑化コース)

教授	大西 孝志
教授	祖一 範夫
教育助手	溝渕 敏広

### (畜産コース)

教授	真鍋 圭哲
----	-------